

寒川 集落と 愛林館



棚田のあかり



寒川集落の棚田風景



石積み棚田



石垣積み教室



水源の森づくり

寒川集落は、水俣市の東部、標高約 300mの山間部に位置し、棚田は「日本の棚田百選」（平成 11 年）に認定されているが、高齢化の進行に伴って、世帯によっては耕作を断念せざるを得なくなるような状況が現れ始めた。

このため、次世代の子や孫へ棚田の景観を引き継いでいく思いから、平成 12 年度に中山間地域等直接支払制度の開始を受けて集落協定を締結した。当初は、水路や農道の維持管理などがメインだったが、現在は、水俣市久木野ふるさとセンター愛林館と連携した耕作断念田活用やグリーンツーリズムなど活動の幅を広げながら、地域づくりを行っている。



熊本県水俣市

【景観の保全】

村おこし施設として建設された愛林館では、ボランティアを募集し、棚田や里山の維持管理を行っている。

崩壊した棚田の石積みでは、石と土だけを使っての土木作業を体験する合宿に取り組み、以前からの石積み景観に配慮した保全活動を行っている。

また、水源の森づくりとして 21ha に及ぶ山に広葉樹を植林し、下刈り等を定期的に行うことで、山林が持つ公益的な機能が維持・発揮され、下流域の地下水保全につなげている。

【伝統文化の継承】

毎年5月、田植えのために水を張った棚田に、約 2,000 本の竹のたいまつをたてて火を飾り、ご先祖に「今でも元気に耕作をしていますよ」と伝えている。また、たいまつ点火前には、西南戦争時より引き継がれる「寒川棒踊り」などの伝統芸能も地元の子どもたちによって披露されている。

【地域社会の振興】

愛林館では「棚田のあかり」や「久木野しし鍋マラソン大会」など各種イベントを開催しており、県内外から多くの人を訪れている。また、棚田米と香り米^{まんごく}万石をブレンドした「たなだのかおり」や大豆を加工した味噌・クッキーなどの販売を行い、都市住民との交流や地場産品の販売は地域活性化につながっている。



加工品のクッキー



愛林館で栽培・販売している香り米

《水俣市久木野ふるさとセンター愛林館》
<http://airinkan.org>